



いきいき東っ子



保護者様 東川登小学校便り 第39号

教育目標：「生き抜く力」の育成（「やさしく かしこく たくましく」） 東川登小 HomePage

令和4年1月25日（火） 文責：校長 橋本 良子

給食集会

1月19日（水）の朝の時間は、児童集会でした。24日（月）から28日（金）までの給食週間を前に給食委員会のみなさんが、給食ができるまでのビデオを見せてくれたり給食クイズを出してくれたりして、毎日食べている給食についてわかりやすく教えてくれました。給食クイズでは、いつも食べている食材が体にどんな栄養があるかで「赤・黄・緑」の仲間に分かれていることの説明があり、「こんぶは何色の仲間でしょう」などのクイズがありました。リモート発表もすっかり慣れて堂々と発表することができました。給食委員会のみなさんは、毎日の献立を掲示板に書いたり、全校の給食当番の身なりについて点検を行ったりと常時活動もしっかり取り組んでくれています。

また、20日（木）は、「おにぎり弁当の日」でした。この取り組みも自分が食べるお昼のおにぎりを作ることに関わることで食に対する感謝の心の育成につながるようにと給食週間の一環として行ったものです。ご家庭でのおにぎり作りに協力いただきありがとうございました。

さらにこの給食週間を利用して、給食委員会のみなさんが給食でお世話になっている方々への感謝の手紙を書くことについても呼び掛けてくれましたので、この機会にいつもおいしい給食を食べることができることに感謝の気持ちを表したいと思います。



【オープニングのダンス「恋ダンス」】



【給食週間の話】



【給食ができるまでの給食室の様子】

1年生の研究授業～国語「たぬきの糸車」～

20日（木）に1年生で研究授業がありました。

おかみさんやたぬきの気持ちを想像するために、たぬきのしたことをまねっこしたり、その時どんなことを言ったのかを考えたりして楽しい学習ができていました。全員が自分の考えを書いて発表することができてすばらしかったです。最後は、1年1組の「オリジナルたぬきの糸車」の紙芝居を作って、みんなで音読する計画です。そのために、たぬきやおかみさんの言ったこと（セリフ）をたくさん考えていきます。できあがりの紙芝居が楽しみです。



6年生の卒業揮毫会

20日（木）に小山路窯の江口勝美様の指導で、6年生が、卒業記念の湯のみに絵付けをする揮毫会がありました。これは、今年で27周年を迎える東川登小の伝統ある学習です。子どもたちは、自分の好きな言葉や絵を湯呑に描いていきました。はじめは緊張で不安そうな様子でしたが、出来上がりは、「線太く絵の具をいっぱい付けていて上手」とたくさん褒めていただくほど、立派な仕上がりでした。焼き物の歴史についても説明してもらい、郷土に誇る焼き物文化を学ぶことができました。



当日は、佐賀新聞社や西日本新聞社、NHKからの取材もあり、子どもたちは、インタビューにも堂々と答えることができました。

絵付けした湯のみは、江口様の窯で本焼きをしていただき、卒業式前に子どもたちに届けていただきます。きっと小学校の大切な思い出の一つとなることでしょう。